

排水溝の点検・補修を！ 小麦では穂肥施用時期を迎えています！

1. 気象および麦の生育状況

播種後の低温や降雨・降雪により一時生育は停滞しましたが、適期播種したほ場の現在の生育は平年並となっています。播種時期により生育に差があるため、ほ場の生育に応じた管理が必要です。

2. 排水対策(大麦・小麦)

麦は畑作物で湿害に弱く、排水不良による湿害は収量・品質の低下を招きます。排水口(尻水戸)周辺が浅くなり滞水していないか、溝が泥やワラでふさがっていないか、ほ場を見廻り点検しましょう。**滞水している場合は溝さらえ等を行い、速やかに排水しましょう。**



排水溝がふさがって滞水。
溝さらえが必要。

3. 収量確保に向けた穂肥(小麦 びわほなみ)

収量を確保するためには、穂肥施用が必要です。2月下旬までに穂肥を施用しましょう。施用時期が遅れると、穂数減少や遅れ穂の発生リスクが高まります。積雪がある場合は、融雪後、排水対策を実施したうえで速やかに施用しましょう。

《穂肥施用例》

パターン①

【基肥】麦用セラコートR2500
または 国産化成肥料444
(窒素成分 5.6~7.5kg/10a)
【穂肥】麦用セラコート R2500
40kg/10a
(窒素成分 10kg/10a)

パターン②

【基肥】 麦パンチ
(窒素成分 14kg/10a)
【穂肥】麦用セラコート R2500
20kg/10a
(窒素成分5kg/10a)